

# 食料・農業・農村基本法の

# 見直しに注文

昨年から「基本法検証部会」を中心に議論を重ねてきた「食料・農業・農村基本法」の見直しは、最終とりまとめを決定し、来年には新しい基本法が国会提案されると言われている。

ここに来て強まっているのは、コロナ禍やウクライナ危機でクローズアップされた食料安保に重点を置くあまり、農村政策が軽視されているのではないかと懸念だ。

識者の方々に意見を寄せてもらった。

食料・農業・農村基本法の見直しや基本計画との関係に関しては、本誌2023年冬52号p67からの記事「食料・農業・農村基本法改正に提案」や23年春53号p72「食料安保にも『多様な担い手』が必要だ 基本法検証を憂う」もご覧ください。